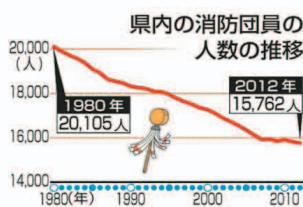


地域の安全・安心を守る消防団員の減少が続いている。県は市町村と連携して、新規団員の確保に力を入れる。県は市町村と連携して、新規団員の確保に力を入れています。

消防団員確保 あの手この手



団員は記録が残る1980年以降では、同年の2万105人をピークに減少し、2012年4月現在は1万5762人。平均年齢は80年の34・2歳から上昇。90年に40年代に入り、12年は41・1歳となつた。過疎、高齢化も一因となり白糸、豊後大野など5市は、日中の火災に限定して対応する機能別消防団員制度を採用。団員経験者や公務員など

同室によると、県内の消防団員は、2012年現在は1万5762人。平均年齢は80年の34・2歳から上昇。90年に40年代に入り、12年は41・1歳となつた。過疎、高齢化も一因となり白糸、豊後大野など5市は、日中の火災に限定して対応する機能別消防団員制度を採用。団員経験者や公務員など

地域の安全安心を守る消防団員の減少が続いている。県は市町村と連携し、新規団員の確保に力を入れる。県消防保安室は、若手が半ば自然に入団していた時代が終わらなければ、消防力維持するため、さまざまな策を講じている。

「若手が自然に入る時代終わった」

今年の出初式でポンプ操作法を披露する大分県消防団員
各市町村で団員確保、消防力強化などが課題となる

日中に限定 高校で部活動

応援協定を締結。都道府県内の全市町村での取り組みとしては、全国で2例目となる。未来の消防団員育成も重要な課題だ。県は消防団を身近に感じてもらうため、高校生にボンプ操作法などを学ぶ「ハ

県「先を見据え対応」

イスクール消防クラブ」を部活動の一環として4校で実施。本年度は大学まで範囲を見据えるなら段階三段構造で対応していくしかない。消防団の活動に理解と協力を



(2013年5月13日朝刊19面)

- ①記事から、大分県内の消防団員のピークの年と人数は？ 2012年の人数は？

- ②減少の原因は何だろう、記事から探そう。記事にある要因のほかに、考えられることは何だろう。

- ③減少が續けば、地域はどうなりますか？ また、増やす方法は何か考えられますか？ 話し合ってみよう。